

ピュアフラワー新聞



2015年3月号

— Pure Flower News —

Vol.11

＊桃の花で大人もひなまつり

3月といえば「桃の節句」。いわゆる「ひなまつり」ですね。ひなまつりで飾られるお花といえば、桃の花。ひな壇にも桃の花がセットになって飾られているので、みなさんご存知かと思います。

桃の花は、日本には少なくとも弥生時代以前から伝わっていて、古くから魔除け・厄除けをもたらす花とされてきました。その不思議な力で人が救われたという伝説もあり、生命力の象徴ともいわれます。ひなまつりに桃の花が飾られるのはそういった風習・信仰がもとになってきた習慣といえます。

ちなみに、ひなまつりに飾られる花は、食用の桃の花ではなく、観賞用につくられた「ハナモモ」の花であることが大半となっています。

また、現在のひなまつりでは、甘酒などが飲まれることが多いですが、平安時代では「桃花酒」が飲まれていました。

「桃花酒」とは、清酒に桃の花を刻んで浮かべたりして飲むお酒で、古くは邪気を祓う力を持った桃のお酒を飲み、季節の節目を乗り越えるという意味合いを持った風習があったそうです。

大人の皆様は桃花酒でひなまつりを楽しんでみてはいかがでしょうか？

＊ワンポイント:器の選び方①

花を飾る器は、「花瓶」である必要は、これっぽっちもありません。ここでは器の形別に、「どんな花を飾ったらキレイに見えるか」をお教えしていきます！

口が広くて浅い器 ～食器・背の低いビンなど～

高さが10～12cmくらいしかない入れ物で、おうちにある食器類がこれにあたります。サラダボウル、マグカップ、コップ、ワイングラス、小鉢などなど・・・
100均などでもかんたんに手に入ります♪
これに花を飾るには、短く切って、花の頭や切り分けた葉っぱを器に入れます。



飾る花のタイプは、
主役A:(マスマフラワー)がベスト!
サブB:(スプレー咲き)を切り分けたり、
主役B(フォームフラワー)でもOK!

形のハッキリした、大輪の花を使うとキレイです♪
それも、あまりたくさん花よりも、2～3輪+葉くらいの方がキマりますよ!



＊今月のワンポイントレッスン

今回は、桃のお手入れ方法について。

実は桃の花は少し咲かせるのが難しいお花です。普通に飾っているだけでは咲かない…ということがあります。なので、お手入れの前に、上手に咲かせるための下準備から。

桃の花はまず、咲きそうなつぼみと咲かないつぼみを見分けるところから始めます。「色が濃くハッキリしていて、ハリがあるもの」はコツを踏まえれば咲きますが、「色がくすんでいてしわしわのもの」は咲きません。咲かないと思われるものは初めに取ってしましましょう。

咲きそうなつぼみに絞ったら、以下のポイントに気を付けてお手入れしてみてください。

- ・部屋の暖かい所に置く(暖房の風が当たるような所はNG)
- ・乾燥に弱い為、霧吹きなどをして湿度を上げる。
- ・根元を割る(vol.8)でご紹介した切り方です)
→<http://www.pure-flower.com/care/nemotowari.html>

気温と湿度に気を配ってお手入れしてあげてくださいね!